

訪問介護事業の皆様へ

労働災害を防止しましょう！

都内の社会福祉施設では、利用者の移乗、介助で筋をちがえる、くじく、ぎっくり腰になる「**動作の反動・無理な動作**」や施設内での段差、配線、水たまりなどによるつまずき、滑りにより転ぶ「**転倒**」と呼ばれる災害が多く発生しています（**全災害の約7割**を占めます）。

特に利用者宅へ訪問し、食事、入浴、トイレ介助や、掃除、洗濯、調理援助等を行う訪問介護事業では、重量物を取り扱う、作業空間（トイレや浴室等）が狭い、小休止が取りづらい、利用者宅への移動等の特徴があるため、次のような災害が発生しやすくなります。

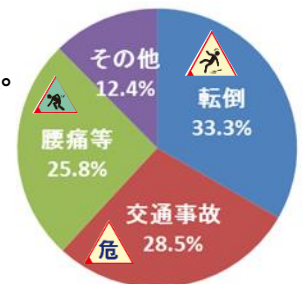
利用者宅での段差や濡れた床等による、**つまずき**、**滑りにより転ぶ**。

利用者宅への移動中に**交通事故**にあう。

不自然な姿勢での作業により、**筋をちがえる**、**ぎっくり腰になる**。

労働災害防止には、危険個所などの「**見える化**」をはじめとする**安全意識の高揚**、雇入れ時の**安全衛生教育**が重要となります。

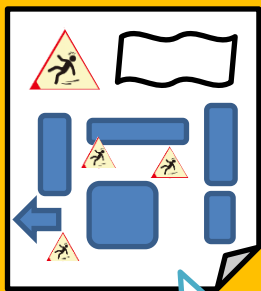
さあ、職場に合った効果的な労働災害防止対策をしましょう！



訪問介護事業の災害発生状況（H29東京）

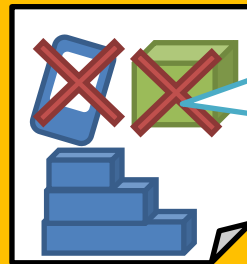


転倒防止対策のポイント



転ポ⑤

利用者宅ごとに段差のある個所や滑りやすい場所などをまとめ、**転倒危険マップ**を作成し、周知しよう！



転ポ①

ただでさえ慣れない利用者宅、大きな荷物を抱えるなど、**足元が見えない状態での階段の移動は危険！**



転ポ②

通路、階段、出口に**物を置かない！**



転ポ③

水がこぼれるなど床が濡れたら**すぐに拭きとる！**

転ポ④

作業を行う際は、接地面積が広く**滑りにくい履物**を！

災害事例



ケース1 利用者宅玄関を出たところに段差があり、転倒。休業3か月。（64歳女性）

ケース2 利用者宅を掃除中、家電のコードに引っかかり転倒。休業3か月。（71歳女性）



～トップが打ち出す方針 みんなで共有 生み出す安全・安心～

東京労働局・労働基準監督署



交通事故防止対策のポイント

交ポ⑤

ヒヤリハット事例の収集、交通安全講習等を行い、安全運転を組織的にサポート！
安全衛生教育に役立てる！

交ポ①

自転車でもヘルメット着用！
あご紐をしっかり締めて！

交ポ②

高視認性ベスト、自転車に反射板、朝夕のライト点灯でもらい事故防止！

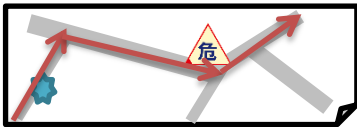
交ポ③

交通事故で多いのは「交差点」「すり抜け」「追突」「往路」。ゆっくり焦らず、運転する！

交ポ④

雨天時のマンホール、積雪、凍結路面は要注意！

交通情報マップを作成し、毎日従業員に情報提供！



災害事例



- ケース1 雨天時、自転車で車道から歩道へ上がる段差で滑り転倒。休業5か月。(60歳女性)
- ケース2 停車中の車の横をすり抜けようとして、開いたドアに接触。休業3か月。(22歳女性)



腰痛等防止対策のポイント

作業姿勢・動作が最も重要！

片足を少し前に出し膝を曲げる！

十分に腰を下ろす！

背を伸ばし、腰を捻らず！

対象に体を近づけ作業！

膝を伸ばすように立つ！



腰ポ⑤



腰ポ①

移乗介助において、スライディングシート等の福祉機器を活用し、一人で抱え上げないようにしよう！

腰ポ②

清潔整容介助は、前かがみとひねりが多い！椅子に座る、膝をつく等で、作業しやすい場所と高さを調整してから行おう！

腰ポ④

歩行介助は、共倒れやとっさの力みで腰痛が発生します。利用者を慌てて抱え上げるのは避けよう！

腰ポ③

入浴・トイレ介助においては、滑り止め対策、水分補給、冷え対策等で腰痛予防！

災害事例



- ケース1 利用者を車いすからベッドへ移乗させた際、腰椎圧迫骨折。休業5か月。(62歳女性)
- ケース2 車いすの利用者を慌てて支え、腰部負傷。休業6か月。(63歳女性)

上で使用している「見える化ステッカー」



& 「マーカー」



の活用をぜひ！

東京労働局では、「Safe Work TOKYO 2018」を展開しており、小売業・社会福祉施設・飲食店等の労働災害の防止に関する様々な情報を掲載しています。

https://jsite.mhlw.go.jp/tokyo-roudoukyoku/news_topics/topics/2017/9_00002.html

